



## クイック スタート ガイド

# 1 製品概要

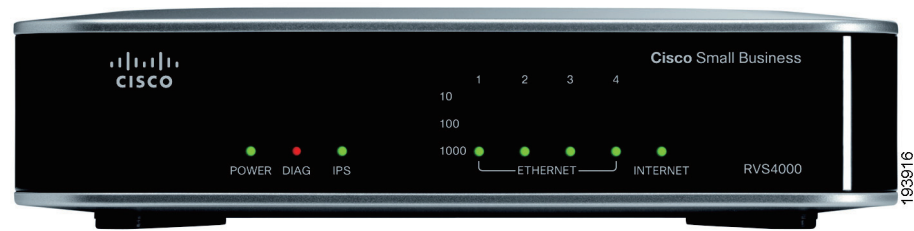
Cisco RVS4000 4 ポート ギガビット VPN セキュリティ ルータをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。RVS4000 ルータは、スモール ビジネスに最適な、先進のインターネット共有ネットワーク ソリューションです。他のルータと同じように、このルータを使用してオフィス内の複数のコンピュータをインターネットに接続させることができます。

また、組み込みの 4 ポート全二重方式 10/100/1000 イーサネット スイッチにより、PC を 4 台まで直接接続できます。必要に応じてハブやスイッチを接続して、さらに大きなネットワークを構築することも可能です。

暗号化された「トンネル」をインターネット上を作る Virtual Private Network (VPN; パーチャル プライベート ネットワーク) 機能を使用すれば、ユーザは外部からオフィスのネットワークへとセキュアに接続することができます。

### 前面パネル

LED は、ルータの前面パネルにあります。



**[POWER] LED** : ルータの電源がオンのとき、グリーンで点灯します。診断テストの実行中は、LED が点滅します。

**[DIAG] LED** : システムの準備が完了すると、消灯します。ファームウェアのアップグレード中は、[DIAG] LED がレッドで点滅します。

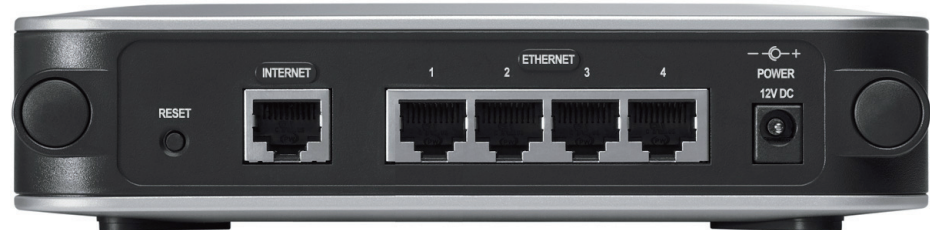
**[IPS] LED** : Intrusion Prevention System (IPS; 侵入防御システム) 機能が有効になると点灯します。この LED が消灯しているときは、IPS 機能が無効になっています。外部からの攻撃が検出されると、[IPS] LED はグリーンで点滅します。内部からの攻撃が検出された場合は、レッドで点滅します。

**[ETHERNET] ポート LED (1 ~ 4)** : 各 LAN ポートに 3 つの LED があります。ポート LED がグリーンで連続点灯している場合、ルータは対応するポート (1 ~ 4) を通じて指定の速度で接続されています。そのポートでデータのアクティブな送受信が実行されているとき、LED はグリーンで点滅します。

**[INTERNET] LED** : [INTERNET] LED は、グリーンに点灯して、インターネット ポートに接続されたデバイスの回線速度を示します。ルータがケーブルまたは DSL モデムに接続されている場合、通常 [100] LED だけが点灯し、速度が 100 Mbps であることを示します。点滅は通信が行われていることを示します。

### 背面パネル

イーサネット ポート、インターネット ポート、リセット ボタン、電源ポートはルータの背面パネルにあります。



**[RESET] ボタン** : [RESET] ボタンには 2 つの使用があります。

- ルータとインターネットとの接続に問題が生じた場合、[RESET] ボタンをクリップや鉛筆の先で短時間押します。これは、PC のリセット ボタンを押してレポートするのと似ています。
- ルータに深刻な問題が発生していて、他のトラブルシューティングもすべて実行済みの場合は、[RESET] ボタンを 10 秒間押し続けます。これにより工場出荷時の設定に復元され、ポート フォワーディングや新規パスワードといったすべてのルータ設定がクリアされます。

**[INTERNET] ポート** : ケーブル モデムまたは DSL モデムとの WAN 接続に使用します。

**[ETHERNET] ポート (1 ~ 4)** : PC やプリント サーバ、追加スイッチといったネットワーク デバイスとの LAN 接続に使用します。

**[POWER] ポート** : 付属の AC 電源アダプタで電源に接続します。

### 設置オプション

このルータは、ゴム足を使用した横置き設置、スタンドへの取り付け、壁面への取り付けが可能です。

#### デスクトップへの設置

デスクトップに設置する場合は、Cisco RVS4000 ルータを平面に水平に置き、4 本のゴム足で支えるようにします。

#### スタンドでの設置

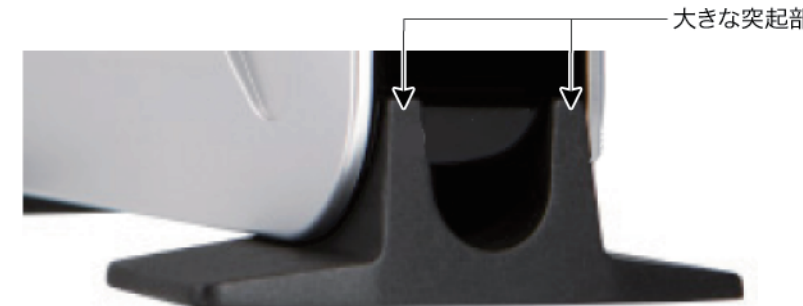
付属のスタンドを使用して縦置きで設置する場合、次の手順を実行します。



ルータを縦置き設置するには、次の手順に従います。

**ステップ 1** ルータの左側面パネルを確認します。

**ステップ 2** 片方のスタンドの 2 つの大きな突起部を外側に向け、短い突起部をルータにある小さなスロットへ差し込み、カチッと はまるまでスタンドを押し込みます。



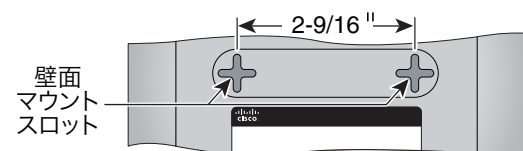
**ステップ 3** もう一方のスタンドでも手順 2 を繰り返します。

#### 壁面への設置

Cisco RVS4000 ルータを壁面に設置するには、次の手順に従います。

**ステップ 1** ルータを設置する位置を決め、ネジ 2 本 (付属していません) を 約 64.5 mm (2-9/16 インチ) 間隔で取り付けます。

**ステップ 2** 背面パネルを上に向け (縦置き設置の場合)、ルータの底面にある十字形の壁面マウント スロットが 2 本のネジと揃うようにルータの位置を合わせます。



**ステップ 3** 壁面マウント スロットをネジの上に配置し、ネジが壁面マウント スロットにぴったりと合うまで、ルータをスライドさせます。

**【注意】** シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 ([www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)) をご確認ください。  
リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。  
また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

## Cisco Small Business 製品（ハードウェア）に関する制限付きライフタイム保証規定

ハードウェアの保証に適用される規定は以下の通りです。シスコのソフトウェアに適用される保証を含む正式な保証書は、以下およびシスコ製品に付属の『シスコ情報パッケージ』に記載されています。

**ハードウェア保証期間:**シスコ製ハードウェアは購入したエンドユーザが製品を所有または使用している限り、ファンおよび電源装置は 1 年間、保証されます。製品の製造が中止された場合は、シスコでは製造中止の通知から 5 年間保証します。

**ハードウェアに関する交換、修理、払い戻しの手順:**シスコまたはその代理店では、欠陥製品を受領してからただちに交換部品を出荷するように商業上合理的な努力を致します。交換部品は送料前払いの陸上輸送で出荷されます。お届け先により、実際の配達所要日数は異なります。

シスコは購入代金を払い戻すことにより一切の保証責任とさせて頂く権利を留保します。

**Return Materials Authorization (RMA; 返品許可) 番号の入手:**製品の購入先の当事者にお問い合わせください。製品を直接シスコから購入された場合は、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

次のフォームに記入して、参照用に保管してください。

製品の購入先:	
購入先の電話番号:	
製品のモデル番号とシリアル番号:	
メンテナンス契約番号:	

各種製品保証規定や、シスコ製品に関するその他の情報は、以下の Web サイト (URL: [http://www.cisco.com/web/JP/solution/small\\_business/support/index.html](http://www.cisco.com/web/JP/solution/small_business/support/index.html)) に掲載されています。

シスコ製品および適用される保証に関する完全なリストについては、上記の Web サイトを参照するか、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

本ドキュメントは、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については、上記の Web サイトを参照してください。



Cisco, Cisco Systems, Cisco logo, および Cisco Systems logo は、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本ドキュメントまたはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0705R)

© 2010 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Printed in Taiwan



78-19431-01

## 2 作業を開始する前に

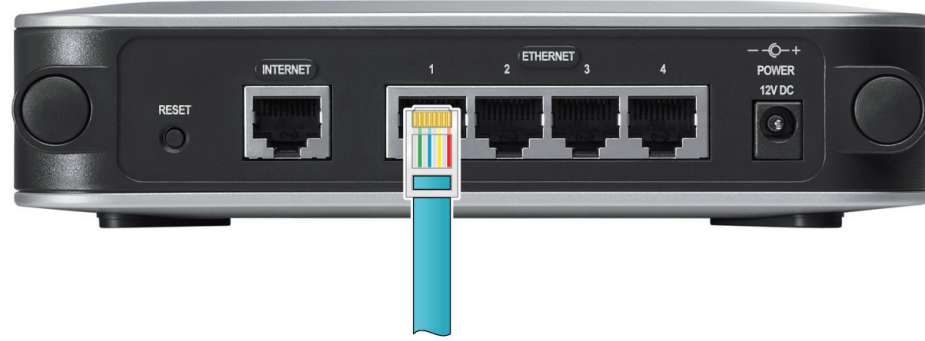
ルータを設置する前の準備として、次の作業を実施します。

- Internet Service Provider (ISP; インターネット サービス プロバイダー) から、使用中のインターネット接続タイプに適した設定情報を入手します。
- ルータや PC、ケーブル モデム、DSL モデムを含め、すべてのネットワーク ハードウェアの電源をオフにします。

## 3 設置

ハードウェアを設置するには、次の手順に従います。

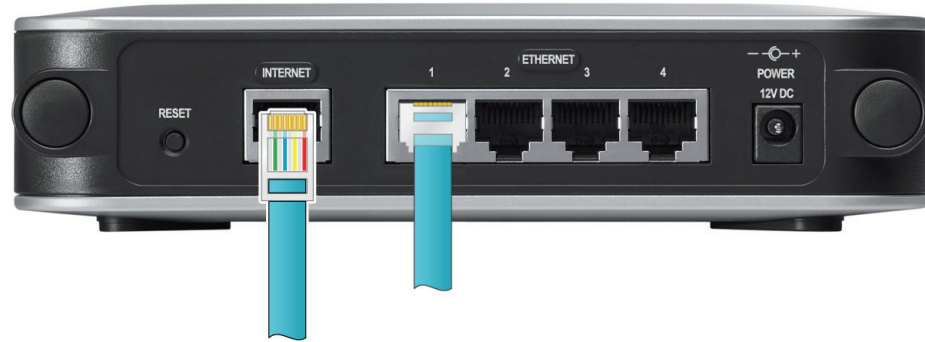
**ステップ 1** イーサネット ネットワーク ケーブルの一方の端を、ルータの背面にある [LAN] ポート (1 ~ 4 の番号付き) のいずれかに挿入します。もう一方の端を PC のイーサネット ポートに挿入します。



234011

**ステップ 2** 手順 1 を繰り返して、最大 4 台まで PC やスイッチ、その他のネットワーク デバイスをルータに接続します。

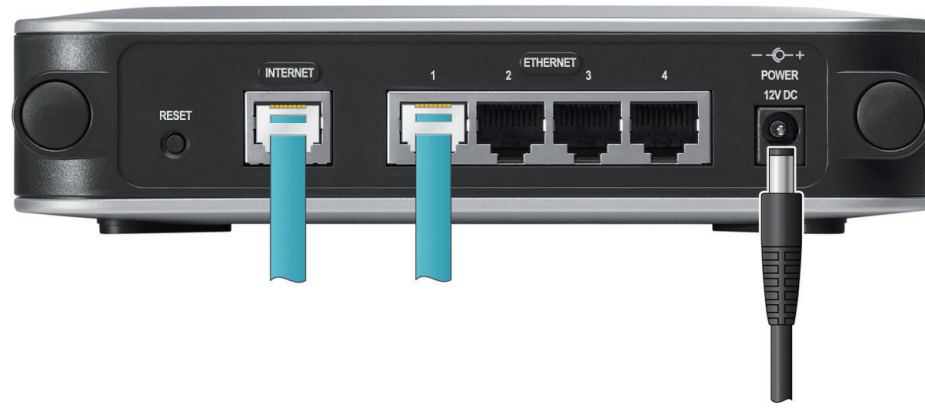
**ステップ 3** 使用中のケーブル モデムまたは DSL モデムからのイーサネット ネットワーク ケーブルを、ルータの背面パネルにあるインターネット ポートに挿入します。



234012

**ステップ 4** ケーブル モデムまたは DSL モデムの電源を入れます。

**ステップ 5** 電源アダプタをルータの電源ポートに差し込み、逆の端を電源コンセントに挿入します。



234013

**ステップ 6** 電源アダプタが接続されるとすぐに、前面パネルの [POWER] LED と [INTERNET] LED が点灯します。

**ステップ 7** PC の電源を入れます。

以上で、ルータ ハードウェアの設置は完了です。

## 4 ルータの設定

RVS4000 を設定するには、PC をルータに接続し、次の手順で Web ベースの設定ユーティリティを起動します。



**(注)** ルータのセットアップ前に、使用する PC がルータから IP (TCP/IP) アドレスを自動的に取得する設定になっていることを確認します。

**ステップ 1** Internet Explorer や Mozilla Firefox といった Web ブラウザを起動します。

**ステップ 2** アドレスフィールドに **http://192.168.1.1** と入力し、Enter キーを押します。

**ステップ 3** [ユーザ名] フィールドと [パスワード] フィールドに、**admin** と入力します。デフォルトのユーザ名とパスワードは **admin** です。

**ステップ 4** [OK] をクリックします。

セキュリティ向上のため、後で Web ベースのユーティリティの [各種管理] > [管理] ウィンドウを使用して、新しいパスワードを設定するようにしてください。

**ステップ 5** Web ベースのユーティリティは、[設定] メニューの [要約] が選択された状態で表示されます。[設定] メニューで [WAN] をクリックします。

**ステップ 6** ISP (通常はケーブル ISP) から要求された場合、[ホスト名] および [ドメイン名] フィールド、さらに [MTU] および [MTU サイズ] フィールドに必要事項を入力します。要求がない場合は、デフォルトのままにします。

**ステップ 7** [WAN] 画面の [インターネット接続タイプ] ドロップダウン メニューで、インターネット接続タイプを選択します。選択したインターネット接続タイプによっては、追加のセットアップが必要になることがあります。

インターネット接続タイプには、次の選択肢があります。

[自動コンフィギュレーション - DHCP]: DHCP またはダイナミック IP アドレスで ISP に接続している場合、このデフォルト設定のままにしておきます。

[スタティック IP]: ISP からスタティック IP アドレスが割り当てられている場合、ドロップダウン メニューで [スタティック IP] を選択します。[インターネット IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]、DNS (プライマリ/セカンダリ) の各フィールドに入力します。DNS アドレスは少なくとも 1 つ入力してください。

[PPPoE]: PPPoE 経由で接続する場合、ドロップダウン メニューでこの項目を選択します。[ユーザ名] と [パスワード] フィールドに入力します。詳細については、リリースノートを参照してください。

[PPTP]: PPTP はヨーロッパだけで使用されているサービスです。PPTP 接続を使用する場合、必要な情報について ISP に問い合わせてください。

[ハートビート信号]: ハートビート信号は、主にオーストラリアで使用されています。必要な設定情報について、ISP に確認してください。

[L2TP]: L2TP は、主にヨーロッパで使用されています。必要な設定情報について、ISP に確認してください。

**ステップ 8** インターネット接続設定の入力が終わったら、[保存] をクリックします。

**ステップ 9** ルータの新しい設定を取得するため、PC を再起動するか、電源を入れます。

**ステップ 10** 任意のコンピュータで Web ブラウザを開き、[www.cisco.com/jp/go/sb](http://www.cisco.com/jp/go/sb) と入力して、設定をテストします。

以上で、ルータの設置は完了です。



**(注)** さらに細かい設定やセキュリティ オプションの詳細については、[www.cisco.com/jp/go/sb](http://www.cisco.com/jp/go/sb) にアクセスして『Cisco RVS4000 4 ポート ギガビット VPN セキュリティ ルータ アドミニストレーション ガイド』を参照してください。他の関連ドキュメンテーションにも、[www.cisco.com/jp/go/sb](http://www.cisco.com/jp/go/sb) からアクセスできます。

## 5 関連情報

Cisco Small Business シリーズの製品、マニュアル、サポート等に関する詳細については、[www.cisco.com/jp/go/sb](http://www.cisco.com/jp/go/sb) を参照してください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

接続ケーブル、電源コード、AC アダプタなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。添付品・指定品以外の部品をご使用になると故障や動作不良、火災の原因になります。また、電気用品安全法により、当該法の認定 (PSE とコードに表記) ではなく UL 認定 (UL または CSA マークがコードに表記) の電源ケーブルは弊社が指定する製品以外の電気機器には使用できないためご注意ください。